

丸山鶴吉 たわらま じろきち 官僚。明治十六年九月二十七日廣島縣生れ、昭和二十一年二月二十日歿（八三一九五）。第一高等學校を経て、明治四十二年東京帝國大學法科大學政治學科卒。警視廳に入り、警視から方面監獄長官、保安部長。次々内務省に轉じ、書記官を経て、朝鮮總督府警務局長。昭和四年警視廳總監、十八年大政翼賛會事務總長、その後京城縣知事、東北地方總監を務め、この間社會事業にと盡力。

著書に「五十年とこうぐ」（昭和九年十月十一日大日本雄辯會講談社）、「國境と其の警備」（合著・小林金重編、昭和十一年四月十五日京城・朝鮮國境警備後援會）、「朝鮮統治秘話」（合著・「朝鮮行政」編輯總局編、昭和十一年九月二十八日帝國地方行政學會）、「高島教育報國六十年」（編、昭和十五年十一月十日高島先生教育報國六十年記念會）、「決戦下青年の訴ふ」（合著・非凡閣編輯局編、昭和十九年四月十日非凡閣）等。「私設社會事業」丸山鶴吉先生古稀記念集（昭和二十八年十一月十五日東京後援護協會）刊。

